

研究主題

# 特別支援教育の推進と小中学校の運営 — 個別の教育支援計画の活用と充実に向けて —

## 特別支援教育委員会

### 1 研究の目的

特別支援教育では、児童生徒一人一人の生涯にわたる一貫した支援の継続が重視されている。また、小中学校には、就学前から就労に至るまでの一貫した支援を視野に入れた指導・支援の充実が求められている。今年度は、昨年度までの調査結果を踏まえ、個別の教育支援計画等による支援体制の在り方や校長による特別支援学級等の教員の指導の在り方について探っていきたいと考えた。

### 2 研究の方法

|                 |      |
|-----------------|------|
| 調査対象校（全県の2 / 3） | 846校 |
|-----------------|------|

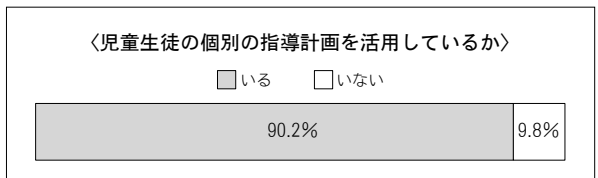
「全国特別支援学級設置学校長協会アンケート調査2010」の愛知県集計を基に、個別の教育支援計画等の活用について調査研究を行った。

主な内容として、「個別の教育支援計画等の有効な活用」「校長による特別支援学級等の教員の指導の在り方」を取り上げた。

### 3 研究の結果

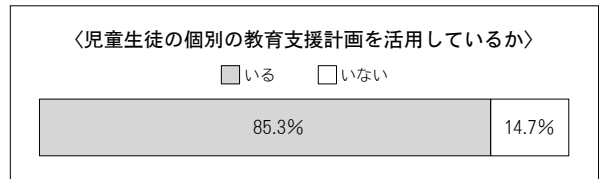
#### (1) 個別の教育支援計画等の有効な活用

##### ア 児童生徒の個別の指導計画について



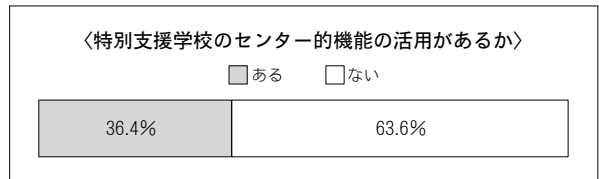
90.2% (763校) が、特別支援学級等の児童生徒の個別の指導計画を「活用している」と答えている。また、9.8% (83校) は「活用していない」という回答であった。

#### イ 児童生徒の個別の教育支援計画について



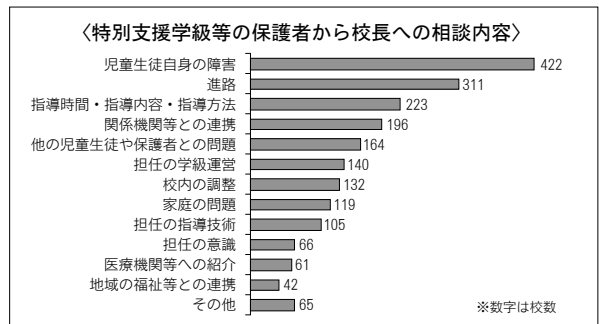
児童生徒の個別の教育支援計画については、722校 (85.3%) が「活用している」という回答であった。

#### ウ 特別支援学校のセンター的機能の活用



上記資料から、特別支援学校のセンター的機能の活用について36.4% (308校) の学校が「活用がある」としている。特別支援学校による巡回指導や専門的な指導などの支援を活用している。

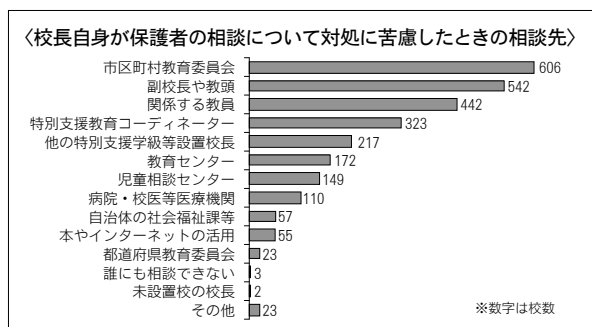
#### エ 保護者からの校長への相談内容について



保護者からの校長への相談内容については、「児童生徒自身の障害」「進路」「指導時間・指導内容・指導方法」「関係機関等との連携」の順であった。

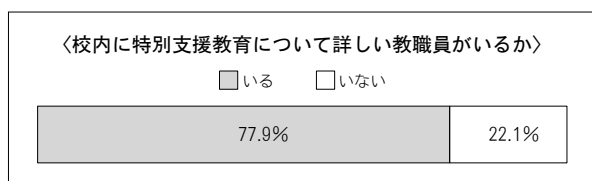
保護者にとって将来を見据えた個別のき

め細かい支援体制を望んでいることが分かる。また、校長自身が保護者の相談について対処に苦慮したときの相談先として、「市区町村教育委員会」「副校長や教頭」「関係する教員」「特別支援教育コーディネーター」「他の特別支援学級等設置校長」「教育センター」「児童相談センター」という順に、回答が得られた。



## (2) 特別支援学級等の教員の指導の在り方

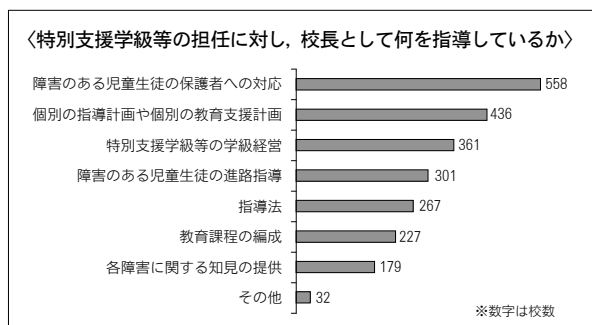
### ア 特別支援教育に詳しい校内の教職員



校内に特別支援教育に詳しい教職員はいるかという問いに、77.9%（659校）が「いる」という回答であった。

特別支援教育に詳しい教職員は、「特別支援学級担任」「特別支援教育コーディネーター」「副校長・教頭」職務 主任 「スクールカウンセラー」「養護教諭」の順であった。

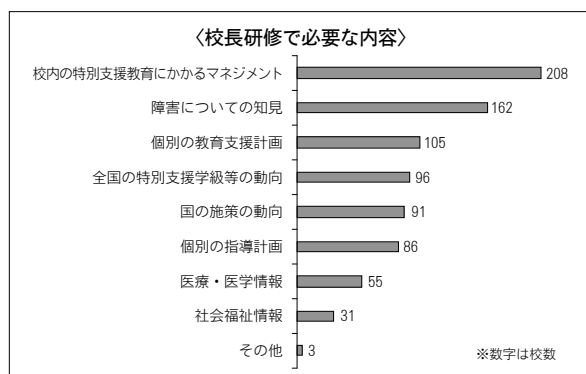
### イ 特別支援学級等の担任に対しての指導



特別支援学級等の担任に対し、校長として何を指導しているかの問いには、「障害

のある児童生徒の保護者への対応」「個別の指導計画や個別の教育支援計画」「特別支援学級等の学級経営」「障害のある児童生徒の進路指導」の順となった。

### ウ 校長研修で必要な内容



今後、校長研修として必要な内容としては、「校内の特別支援教育にかかるマネジメント」「障害についての知見」「個別の教育支援計画」「全国の特別支援学級等の動向」「国の施策の動向」「個別の指導計画」の順となった。

## 4 まとめ

学校や地域で質の高い特別支援教育が推進されるためには、特別支援教育に携わる一人一人の教員の資質・能力、専門性の向上が重要である。また、児童生徒一人一人に対しての個別の教育支援計画による支援体制の充実も大切なことである。今回の調査から次のような結果が得られた。

- 児童生徒の個別の指導計画や教育支援計画の実施については、多くの小中学校で実施されている。今後は、個別の指導計画や教育支援計画の更なる充実した実施に向け、小学校と中学校の連携や指導方法の工夫などに力を入れる必要がある。
- 教員の資質・能力、専門性の向上のためには、校内研修とともに、地域の研修会等に積極的に参加し、学級経営や個別的な配慮、指導の知識・技能を習得することが重要である。